

羅 針 盤

令和5年2月8日 発行

三和中学校 第2学年部

第 15 号 文責 中尾

Birth of Japan No.2

【今号は、濃厚接触者に特定されたときの対応についてです。次号は、2月14日(火)発行予定です。】

<いただいた質問について> 下の★「 」が、質問です。

【保護者の皆様からの質問のため、対象とする生徒を、「子」と記載しています。】

★「宿泊するホテルで、同部屋の人が陽性になり、子が濃厚接触者に特定された場合、それ以降の行動はどうなるのか？」

★「旅行中に家族が陽性になったら、子は濃厚接触者になり旅行も離脱するのか？また迎えはどうするのか？」

⇒ 旅行中は、学校(旅行隊の隊長である校長)が濃厚接触者の特定を行うことになります。発熱や倦怠感、咳、のどの痛みがない無症状であれば、マスク着用などの感染対策の状況がどうであったかを確認します。また、陽性者との接触の内容(1m以内の距離で15分以上の会話があったか、マスクの有無はどうかなど)等を精査して特定することになります。必要に応じて、抗原検査の実施や病院の受診、市教委の指示を仰ぐ予定です。その際は、保護者の方へ連絡しますので、旅行中の3日間は必ず電話に出られるようにご配慮ください。



同居家族が陽性になった場合も含め、修学旅行出発後、濃厚接触者に特定されれば、基本的に以下のように対応します。

- 他の生徒との接触を避け、別行動とします。(確保してある保健室で過ごす、班別研修に同行しない、食事会場では他の生徒と十分に距離を保つなど)
- 旅行隊と一緒に帰校できないと判断した場合、保護者の迎えをお願いすることになります。生徒本人の気持ちを大事にしながら、対応していきたいと考えています。

旅行のしおりには、健康観察のページを載せます。出発前から、体温、体調などを記録することになります。日ごろからの感染対策を実行し、万全の体調を維持してほしいと願っています。

